

試料・情報利用研究計画書(概要)						
審査委員会 受付番号	2026-3001	利用形態	内部研究	利用する 試料・情報	対象:レセプト情報を持つ者 情報:基本情報、調査票情報、レセプト情報、脳卒中および 心疾患の発症登録情報	
主たる研究機関	岩手医科大学			分担 研究機関		
研究題目	レセプト情報を用いた疾患の追跡方法の確立と妥当性の検証			研究期間	2026年4月(承認後)～2027年 3月31日	
実施責任者	丹野 高三	所属	いわて東北メディカル・メガバンク機構		職位	機構長
研究目的と意義	東北メディカル・メガバンク計画では、被災地域の住民を対象とした大規模ゲノムコホートを立ち上げ、様々な健康アウトカムを10年以上追跡してきた。本研究では、レセプト情報を利用した疾患の追跡方法を確立し、その妥当性を検証する。					
研究計画概要	本研究では、レセプト情報を利用して疾患(脳卒中、心疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症など)の追跡方法を確立し、その妥当性を検証する。対象者は地域住民コホート調査に参加し、レセプト情報を持つ者である。レセプト情報から対象とする疾患を抽出するアルゴリズムを作成し、発症登録や調査票情報などこれまで追跡してきたデータをゴールドスタンダードとした時のアルゴリズムとゴールドスタンダードによる罹患状況との一致度を感度、特異度、陽性反応的中率、カッパ係数より検証する。					
期待される成果	レセプトから疾患の罹患状況を把握することができれば、コホート研究における効率的なアウトカム把握が可能となる。					
これまでの倫理 審査等の経過	本研究は東北メディカル・メガバンク計画(課題名:いわて東北メディカル・メガバンク地域住民コホート研究、承認番号:HG H25-2、承認日:令和7年6月11日)の一部として実施するため、倫理申請は行わない。					
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	「ヒトを対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいた管理を実施します。 東北メディカル・メガバンク事業の資料・分譲審査委員会の定めるセキュリティーポリシーを遵守します。					
その他特記事項	なし。					
*公開日:2026年5月1日						